

# LEONTODO

N-ro 44

1971

oktobro

## 北海道 Esperanto 連盟 委員会からのお知らせ

去る9月12日、札幌で今期の第1回HEL委員会が開かれ、連盟としての活動のありかたなどについて議論されました。出席者は、高橋(Asahi)、沢谷(Seiri)、木村(Sapporo)、関尾(Sapporo)、池本(Titosa)、星田(Tomakomai)、石黒(Otaru)の各氏

当面の問題について検討した結果、次のように決まりました  
I. HEL委員会定例化について

委員会は、連盟の執行機関であるべきはずですので、2ヶ月に1回定例委員会を開くことになりました。

日時: 奇数月の第3日曜日午後5時から

場所: 中央カレッジ・セント学院(札幌市南2西4, TEL 251-4750)

委員以外の方でも、都合のよい方は顔を出して下さい。歓迎です。委員の方で当日どうしても出席できない人は、文書発言をさせていただきます。また今後の問題として、遠方の委員に対しては、できるかぎり旅費を支給する方向で検討していくことになりました。

## II. HEL会員の再登録について

HELの組織としての基礎を形づくり、財政を安定させ会員の正確な数をつかむために、次の要領で再登録を行います。

1. 各地方会あるいはグループとして連盟に加盟している場合は、各地方会あるいはグループは、会員の正確な数と名簿



Ⅶ. その他

1. 昨年HELが終了した際、事務局より、1枚10円でグループ分けいたしますので、せいぜいご利用ください。
2. 1968年に札幌で開催された55回日本大会の際にHELが製作したエスエルの北海道観光案内パンフレットがまだ残っています。これを各グループおよび個人に分配しますので事務局の方へ連絡してください。
3. 「北海道エスペラント小史」の復刻については、現物を見た上、次回委員会にて検討。

KASRAPORTO de H.E.L (会計報告)

★1970年6月～1971年4月までの会計報告は、NEG FLOKOT 1-103に掲載されていますので、これ以後の9月までの報告をのせます。(事務局)

収入の部

繰越金	¥94,919
会費(25名)	8,500
雑収入(22枚)	2,724
定期利息	1,603
<hr/>	
	¥107,846

支出の部

35回HEL大会補助	¥10,000
感光紙	1,200
事務用品	475
郵送料(切手)	1,495
<hr/>	
	¥13,170

現在高 ¥107,846 - ¥13,170 = ¥94,676

(内訳)

小樽定期	¥60,000
〃振替	28,966
苫小牧郵貯	5,195
現金(事務局)	515

70年大会当時の総額¥109,09と比べると、1年間に約15,000円の赤字ですが、昨年度はポスター印刷¥24,000があるのでこれがなければ黒字。

第1回のHEL委員会の決定で、小樽、苫小牧にある定期、振替、郵貯は、11月14日までにすべて札幌に移管されます。したがって振替口座の番号も変更になりますのでご注意ください。

## 支笏湖畔における強化合宿成功裡に終る。

去る8月開催の北海道大会で採扱されたH  
日し主催の秋季エスペラント強化合宿は、地  
大な自然美を誇る国立公園土の所の青少年  
研修センターにおいて、9月24日(金)から26日(日)  
までの3泊3日、16名以上の参加を得て予期  
以上の成果を収めて終了した。  
あると予期以上の成果へというのは、こ  
合宿が意外にもエスペラントに対する一般  
へのよき宣伝の機会であったということであ  
る。全くの偶然の出逢いで、オランダの青年  
ハンズ・バネー君が終始この合宿に参加  
し、他の同家の60人以上の研修生に刺激を与  
えたばかりでなく、9月26日付道新報でも  
ハンズ・バネー君を団を談のことが同研  
写真入りで大きく紹介され、そのことが同研  
修センター所長に痛く感激させ、昼食後の全  
員集会、われわれのエスペラント運動を高く  
評し、更に大きな運動の輪に広がるように

と激励されたことである。

時を失わず、このように新聞に掲載できたのは、千才市のエスペランティスト、朝日新聞記者と地中監理委員の編、読者感覚と、最近誕生した千才エスペラント会の有力メンバーである道新の島影記者、千才民報の山藤記者（御二人は目下千才エスペラント初級講習会に特訓中）の蔭の力が預って大きかったものと推測される。

さて、強化合宿の日程表及び研修のあらましは、別に掲げるとおりであるが、会場が青森の研修センターの空にふさわしく、厳格な規律に服さねばならず、例えば朝のつどいは「君が代」のみならず、途中で国旗掲揚し、（しっとりの時は、同時にわかベルダスタンダードも掲揚されたが。）更に体操、マラソン競歩など文字通り *severa kunlogado* となり出席者一同いささか度胆を抜かれた感があった。

初級クラスは、初めにマンツーマン方式でいあゆるアミダ抽選方式で中級者と初級者の

一対一で自由な会話として S-to 新田、寛玉、  
F-ino 北島がグロダントとなり、使用テキスト  
一三宅史平の 에스ペラント初級読本、吹込み  
テープ、G. ホンポリオのカセットテー  
プによる。聞き、読みかつ相互に対話を、と  
いうように反復に反復を重ねて、終局目標を  
エスペラントで簡単な自己紹介ができること

おいた。その結果としては、閉会式におけ  
る自己紹介の再演出(?)と閉会式後チオ市エス  
ペラントイストの集会所「<sup>グリーン・ハウス</sup>  
<sup>Verde Domo (と改めた)</sup>  
」における交歓会での自己紹介など、なかなか  
磨きのかかったものとなっていた。ともあらず  
、初級参加者の反省意見の集約は「ホントニ  
severa デシタ」と異句同音。参加者：S-toj 藤井  
、伊藤、大島、F-inoj 黒川、荒家、青木、佐藤

一方、中級クラスは次の教材を用いて作文  
練習及び翻訳実験など変化に富んだ内容を時  
間の進行に併せて次から次へと、多少乱読の  
気味はあったが皆熱心に読み、訳し、かつ討  
論をということとで、しかも質疑応答は、大羊

話  
の  
の  
連  
か  
っ  
て  
EON

ト  
み  
一  
と  
を  
と  
け  
ス  
の  
お  
れ  
二  
日  
藤  
文  
時  
の  
討  
羊

エスペラントで行なわれたので、参加者の能力向上に役立ったものと自讃してよいのでは  
ないか。参加者：吉原、沢谷、松岡、関尾、  
ベイマー、池本、星田

教材：(1) Kredu min sinjorino より抜粋

(2) Historio de la lingvo Esperanto (E. Privat)

の Capitulo 1. Esperanto kaj unu-~~aj~~ lingvoj

(3) アイヌ民話 シシヤモの話 (Esp 訳)

(4) Nova Vojo の作文練習

(1) は、いまいまだに立体、機智あふれる会話の面白さを皆よく感ずることできた。この本は、緑星堂でも取り次いでいるので多くの人は是非購読をお奨めしたい。

(2) は、印欧語言語学のあらすじを Esp に関連づけたもの。

(3) は、翻訳の技術的な問題よりも原文を生かした形と原文の内容の vivece reprezentanto との二つの方法論があらわれ、結局おのおのの方法で作ってみることになった。これは、雑誌 L'ESPIONTODO に発表されると思う\*。(Vd.\* p.26. Rakonto pri SISHAMO)

(4)は、どれも易しいように案外ひっかかる  
ところの多い問題、しかし Nova Vojo に出てい  
る訳例にも疑問訳がありとの批判もあった。

初級中級合同研修は、第2日目の午後の部  
及び夜間の部で一つは、モーラップキャンプ  
場へのピクニックを変更し、一台の乗用車に  
分乗してモーラップ湖<sup>湖</sup>及び樽前登山口への  
ドライブとし<sup>やまご</sup>。また<sup>山</sup>座の中里会長が  
ら御賓贈の<sup>涼</sup>飲料で喉をうる<sup>あ</sup>りて<sup>あ</sup>りて  
楽しんで、<sup>い</sup>い<sup>い</sup>菓子<sup>を</sup>頼<sup>り</sup>ば<sup>ら</sup>ば<sup>ら</sup>自由<sup>に</sup>談<sup>話</sup>と  
自然の<sup>景</sup>観<sup>を</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>せ</sup>つ<sup>つ</sup>し<sup>ば</sup>し<sup>ば</sup>開放<sup>感</sup>に<sup>あ</sup>つ<sup>た</sup>

左いで夜の部では、S-ro. 関尾の<sup>山</sup>景<sup>を</sup>映<sup>す</sup>た<sup>り</sup>に<sup>あ</sup>  
るスライドの上<sup>映</sup>及びアマチヤ無線の<sup>エ</sup>ス<sup>ペ</sup>  
ラント<sup>を</sup>信<sup>記</sup>録<sup>を</sup>聴<sup>く</sup>時<sup>間</sup>。S-ro. 関尾の<sup>ス</sup>ラ  
イドの上<sup>映</sup>は、参加者16名の<sup>観</sup>賞<sup>の</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>せ</sup>て<sup>終</sup>ら  
せるに<sup>は</sup>、余りに<sup>あ</sup>り<sup>惜</sup>しい。根<sup>創</sup>原<sup>野</sup>と<sup>知</sup>床<sup>平</sup>  
島の<sup>秘</sup>境<sup>を</sup>彼<sup>自</sup>ら<sup>踏</sup>登<sup>し</sup>撮<sup>影</sup>した<sup>り</sup>の<sup>で</sup>、特  
に<sup>同</sup>一<sup>場</sup>面<sup>を</sup>夏<sup>と</sup>冬<sup>と</sup>に<sup>く</sup>ら<sup>い</sup>て<sup>浮</sup>き<sup>ぼ</sup>り<sup>と</sup>  
せた<sup>コ</sup>ント<sup>ラ</sup>ス<sup>ト</sup>の<sup>差</sup>や<sup>い</sup>さ<sup>は</sup>、心<sup>憎</sup>い<sup>程</sup>。  
しかも<sup>彼</sup>特有<sup>の</sup>整<sup>つ</sup>た<sup>り</sup>として<sup>簡</sup>潔<sup>な</sup>に<sup>ス</sup>テ<sup>ジ</sup>



かる説は、ますます観賞の世界へと誘って行く。  
 てい。又、アマチュア無線のエキスパートを信は  
 った。東京都八王子市の中島恭平氏とハロイ市の  
 の部一教会牧師との交信をテープに吹き込んだも  
 ンプの、その内容は、本年の北海道大会参加者へ  
 事へのメッセージであるため「聴かざるばなるまじい  
 への」という名の。奉

強化合宿日程表及び研修のあらまし

前にS-10、星田が  
 全直巻、ゴローし  
 て全巻に配付し  
 様にコマのワマ  
 ン、の、本、局に日  
 本誌に専納して  
 外、予一アを聴  
 くともいう方法が  
 とられたため、  
 ここで Severa Kurt-  
 sidoに早変わりて、  
 よことにもって  
 初級者の方には

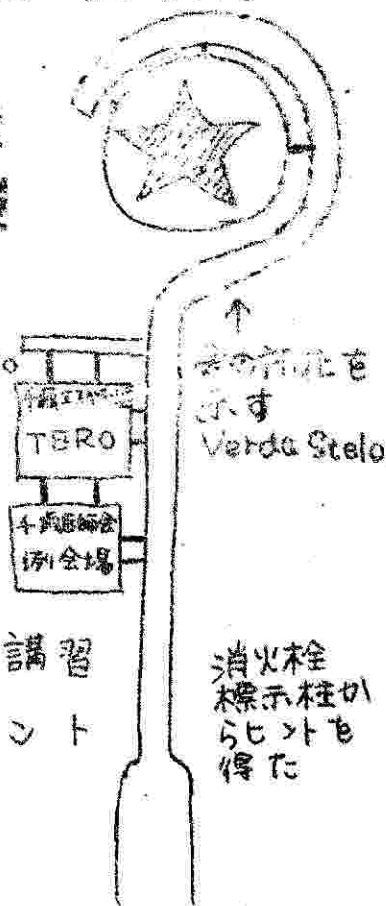
区分 時間	第1日目 9月24日(金)	第2日目 9月25日(土)	第3日目 9月26日(日)	
6:30	△	起床	起床	
7:00		朝のつどい	朝のつどい	
8:00		清掃	清掃	
8:30		朝食	朝食	
9:00		研修 (研修室B)	研修 (研修室B)	
10:00				
11:00		研修 (研修室B)	研修 (研修室B)	
12:00				
12:00		昼食	昼食	
2:00		受付 西合式(自己紹介)	昼食後研修 (モーニング)	△
2:30		研修 (研修室B)	キャンプ場へ ピクニック)	
3:00		研修 (研修室B)	自由交換 (研修室B)	
4:00				
5:00	夕のつどい	夕のつどい		
6:00	夕食・入浴	夕食・入浴		
7:30	研修 (和室)	自由交換 (研修室B)		
8:00				
9:00	読書	読書		
10:00				

御同情申しあげずにははいられない。なお、この時に S-ro. 池本が、千才の初級講習生4人を引率してこられたので、ひとときを“親善交換の夕”に切り替えることができた。

以上が強化合宿のあらましであるが、参加者のほとんど全員から今後も引き続き実施し定着させてほしいとの意見があり、次回は更に反省の上によってより内容の充実したものにしたいと念願している。(見玉. 望日記す。)

## 千才エスペラント会 (TERO) 誕生!

※千才に緑の新星が生まれた  
その名はTERO (Titose Esperanto Rondo. 千歳エスペラント会)  
※千才では7月24日から毎週土曜日、市民会館で初等講習会を開いているが、9月9日講習生を中心にして千歳エスペラント会を結成した。

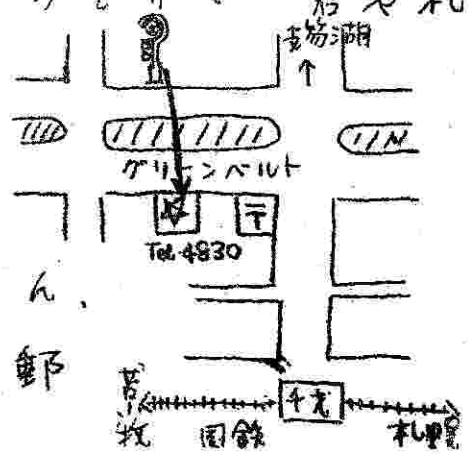


会員は今のところ Kurso 講師の中更、池本と講習生(8人)の計10人だが、クチコミ、マスコミの影響で入会希望者はウナギのぼり(?)にふえている。このため T E R O では、11月に第2期初等講習会を開く予定。

★ T E R O では初等講習会と併行して毎週木曜日の夜、例会を開いている。例会では今のところ市民文化祭(10月31日~11月3日)に備えて資料作りをしている。例会場は Verda Domo.

★ 支笏湖強化合宿には、地元でありながら T E R O 会員それぞれの都合で6人しか参加できずそれもほんの少し顔を出す程度に終わったのが残念。しかし、合宿直後の26日、ヴェルダ・ドモで開かれた会合で、会員の一部がオランダの Samideano、ハンス、グレイマー君や札幌、三笠、苫小牧の Samideano

と歓談できたため、刺激



になった。  
★ 当会あて郵便物はもちろん、Leontodo その他各会員あての郵便

煙物も下記の adreso へ送って下さい。郵便料  
節約のためにも良いと思います。

066 千歳市幸町5丁目グリーンベルト  
「ヴェルダ・ドーム」内  
千歳エスペラント会 Tel.(012322)48

## 札幌エス会

### 秋の講習会

春にひきつづき、10月2日から毎週土曜日、中央タイピスト学  
(南2西4)で10人の新受講生をお迎え、初級講習会がはじ  
まりました。受講料は、全期1,200円(新選エス和辞典付)。テキ  
は、La Teksto Unua. 講師団 s-ro 吉原、木村、マリマ、沢  
木の、それに特別講師として教育大の三沢先生と総出陳。

宣伝は、道新市内版への有料広告、各紙の催し欄(朝日、毎  
に出た。他は未確認)、ポスター20枚とダイレクトメール100枚  
効果のほどは、有料広告(7人)、新聞催し欄(2人)、ダイレク  
トメール(1人)、ポスター(0)。ポスターの効果ゼロという結果は、  
のときに比べて①枚数が少なかった。②都心の街頭には一  
も出せなかったこと。③時期が遅すぎたことなどが原因とし  
げられよう。とくに都心の街頭に出すためには、数人の行  
隊でも組織してかからないと、個人では負担が大きすぎる。  
の経験では、人通りの多い、都心の回っ角でのポスターの効  
が絶大であった。ダイレクトメールも時期が遅すぎて、会員によ  
ロコミが十分できなかった。今回の宣伝は、最小の労力でのよ  
だに、それにしても10人集まったのは、成功であったといえよう。

やはり100万都市の利であろうか?

例によって、受講者のアンケートによると「エスパラント」について知ったのは、

学校(3), 友人・知人の話(3), 新聞, 本・雑誌, ラジオ  
テレビ(各1).

勉強しようとした動機は、複数回答で、

国際語だから(4), 友人・知人の勧めで(3), 好奇心から(3),  
海外旅行を考えているから(2), 趣味・教養的+α(1).

### 例会

毎週土曜日 PM 6:00~8:00, 中央タイピスト学院で(別室)。  
7月~9月までかかって、La Testa Unuaの学習終了。10月以  
らは「新エス講座」第2巻(¥350)をテキストにして中級の勉  
強。

### 札幌エス会

#### 秋の講習会特別講義のお知らせ

題 「ロンドン世界大会に出席して」

講師 三沢 正博 先生

とき 11月6日(土) PM 6:00~8:00

ところ 中央タイピスト学院(札幌市南2西4)

今年の8月ロンドンで開かれたエスパラント世界大会には、北海道からは速軽で先生を(英語)しておられる堀江精一さんと、教育大の三沢先生がいかれました。三沢先生は、8月26日付夕刊に世界大会のレポートを発表していますが、今回は、会員の要望に答えて、直接先生から大会のウラ話も聞こうというわけ。世界旅行を考えている人は、いろいろ聞いておく絶好の機会! 受講生以外の聴講大歓迎!!!

## Usonaj gesinjoroj prof. Lewin vizitis Sapporon.

Ili venis al Sapporo por ĉeesti Internacian Marherbologian Kongreson, tiam okazigitan en Sapporo. Prof. R. A. Lewin estas elokventa parolanto, kiu prelegis en Tokia UK, 1965, kaj la sinjorino estas ĉininino, studas pri "amenbo". La gesinjoroj montris al ni jenan interesan karton, kiu bone klarigas ilian geedziĝon;

D-ino Lanna Cheng, iaciĝinta de soleca vivo en la Universitatoj de Singapore, Oxford kaj Waterloo, nun decidis enradikiĝi en Kalifornian kajmon kun Angla ĉefservisto. Si translokiĝas al la subindikita adreso.

D-ro Ralf A. Lewin, post kvar jaroj de soleca Angla kuirado, decidis inviti ĉe lin ĉininon kiel konstantan kuiristinon. Li daŭre laboras ĉe la Universitato de Kalifornio kaj loĝas ĉe la subindikita adreso.

La 12an de aŭg., vespere, 8 gesamideanoj de Sapporo Esp.-Societo kaj Rondo Nordo havis en iu "tenpura"-ejo bonvenigan kunsidon por ili, ĉar la gastoj ŝatas japanajn kuirajojn. Laŭ s-ano Lewin, en hejmo lia edzino ĉiam manĝigis rizaĵojn. Certe li ja bonege povas uzi "haŝiojn", kaj plie dank' al nia lingvo Esperanto, ni neniel povis senti fremdecon de li. Ĝa li estas jam aziano! Prof. Lewin parolis al ni pri la lingvaj problemoj en ĉi tiu Internacia Kongreso, kaj akcentis la superecon de Esperanto, kiu, nur kiu povas vere solvi la problemojn. Pro manko de tempo ni ne povis sufiĉe demandi al li pri la Esp.-Movado en usono.

%%%

### S-ano Wijmer en Hakodate

Juna nederlanda samideano Wijmer neatendite vizitis nian urbon Hakodate, hazarde tiam ni Hakodate-anoj aranĝis la kutiman kunsidon ĉe iu restoracio. Do, akceptinte lin, nia kunsido fariĝis bonveniga kunsido al li. Vespermanĝante, ni babiladis pri diversaj temoj. Alkutimiĝinte lian prononcon, ni preskaŭ ne sentis lingvan baron inter ni kaj li. Li malofte sin turnis al vortaro, parolis malflue, do ni eksciis, ke li estas ankoraŭ komencanto. Tamen tio plifortigis reciprokajn intimecon. Escepte politikan agitadon, oni ĝenerale preferas sentas homecon al ne flue paroli. En amikeca atmosfero, ni pasigis valoran vesperon. Post la bankedo, ni disiĝis, sed s-ro Josida gvidis lin sur la menton Hakodate por ĝuigi noktan pejzaĝon de Hakodate. S-ro Wijmer ekveturis al Otaru, en la sekvanta mateno, la 23an de septembro.

Kaj en la 1-a de okt., post la Intensiva Kunloĝado de HEL, li revenis al Hakodate. Sed pro lia subita revizito, ni ne povis sciigi al la aliaj membroj. Plie en tiu tago, profesoro

## Rondo Nordo からひとこと.

事務的な書き方をすれば、私たちは毎週木曜日18時30分  
ころから北大クラーク会館において(集会場)例会をもち、そ  
こでは A Practical Course in Esperanto を使った学習と適当  
な雑談を行なっていますが、熱心な人、ふまじめな人とりまぜて  
の会合だけにその空気もやや濁りざみという感じです。  
先日の例会では 任務分担の再配分をして、他のグループと  
の接触を担当する外部連絡には今までどおり清水寛氏が  
けんがくことになりました。私たちの Rond には、この札幌にもう  
ひとつ札幌エスペラント会がある関係で、会員の出入りかは  
よくありますが(もちろん出のほうの問題です)。そうしたことを見  
つけ、いままでのような外ひろがりの運動ではなく、内部と  
して(それは Rond それから個人の内部ですが)のエスペラント  
生活みたいなものの、ほんのかけらのものであるにしても、生  
産がほしい、という気持ちになります。当面(テキストをおえる  
まで)今までの活動らしきものをつづけていくつもりですが、  
そのあとでは、なんらかの飛躍がなければならぬでしょう。  
すなわち、冬になったら緑は枯れるものだ、という常識を常  
識としておきたくはないということです。とくに今は秋です。

333

Mizuno (Meiji Universitato) ankaŭ faris viziton al Hakodate.

Pro tio, s-ro Joŝida persone bonvenigis ilin, kaj s-ano Iĉikawa  
provizore gvidis kurson okazigitan ĉia-vendrede.

S-ro Wijmer tranoktis ĉe s-ro Joŝida, kaj ekveturis al Hiro-  
ki, per pram-ŝipon sekvantamatene.

# Hakodate Esp.-Societo

En la 13a de oktobro, vespere, Hakodate-anoj havis kutiman kunsidon en iu restoracio. La partoprenintoj estis ses. Kaj du raŭlinoj unufoje aliĝis. Mangante vespermanĝon, ni diskutadis pri la protokolo de la unua komitato de HEL, kaj ni konkludis al la sekvantaj;

1. Ni plimultigu membrojn pli ol dek. (nuntempe, sep)
2. La "korespondisto" en Hakodate estu s-ro Iĉikaŭa.
3. Okaze de la dua komitato, ĉeestantoj certigu, ĉu ĉiu membro de loka grupo nepre devas fariĝi membro de HEL, aŭ ne.
4. La oficialan nomon de HEL-Kongreso oni devas konsideri jene;
  - (1) La 35a Hokkajdo Kongreso de Esperantistoj
  - (2) La 35a Kongreso de Hokkajdo Esperantistoj
 Tio estas sufiĉe diskutinda, ĉar la oficiala nomo decidus la karakteron de la kongreso, amplekson de partoprenantoj, decidajn voĉojn pri la proponoj ktp.
5. En tiu ĉi jare, pri eldono de nia organo "Leonto", ni petas Sapporo-anojn, ĉar la sekretariejo nun ekzistas en Sapporo. Ni kunlaboru kiel eble plej per sendi manuskriptojn. Se tio estus tro ŝarga por ili, ni kune pensu aliajn metodojn.
6. Ni havu intensivan kunloĝadon ĉirkaŭ la fino de novembro por pli altigi parolkapablon.

## Rakontis Nederlanda Samideano (Raportis Iĉikaŭa)

秋の強化会館の帰りに、バイマー氏ともども、キオエスバランソ会の誕生を祝うべく、Verda Demoに押しかけた。時間もたらず、わか karaj fraŭlingjも帰って来たあと、ヒール島の酔いもまわるとともに、バイマー氏との"話"も調子に乗ってきた。さて日本でもウーマンリブが話題になっているが、オランダではどうかと聞いたところ、"ドー・ミナ"と呼ばれる運動がある、なかなか勇いそう。ミナというのは女権運動の先駆者である女性の名前で、ドーは *furoza* という意味。ところが、このオランダ語には *frenesa* という意味もあり、口の悪い世の男性は "frenesa Mina" の運動をするとは肉づいている。男女同権というわけで、戦間的な女の子は、気に入らぬオノゴを見かけると、口笛をならすとか、尻の弱い男性なら ~~尻~~ 膝をぬかすとかいって、日本とはちがって、"中絶"が禁止されているためか、ウーマンリブは喧嘩ばかり。街の上には "mastro de sia propra ventro" と書いてあるとか、以前は産まれた子供の名前を付けるとき、名前の一覽表があって、役所ではその中の名前しか使わなかった。けれども、現在はそんな制限がないので、外国風の女の子の名前がハンパンしているとか。興味のある人は UEAにいる fimo Nagataie まで頼んで調べてもらうとよいかも。(M.O.)



Rememotoj en Mottapu.  
(モラップでの思い出)

大島 俊之 (Mutoran)

今回にさ松荒谷  
を人思さん、友  
の多さ新黒川  
の感れ田川  
てに備え  
つ非主さんて  
宿には宿島藤  
合私合北伊  
の前。た、機  
のせあさん  
湖。そま升こ  
支す。りも藤  
坊。ま。住た  
的ま。ば。後  
碑。ま。ば。最  
念。だ。け。し。並  
記。た。は。し。て。木。部。屋。に。入。る。何。を。し。た。一。文。が。く。む。手。入。ら。う。だ。う。に。高。さ。成。で  
て。い。さ。を。し。て。木。部。屋。に。入。る。何。を。し。た。一。文。が。く。む。手。入。ら。う。だ。う。に。高。さ。成。で  
っ。せ。を。さ。と。者。に。目。つ。ら。悔。一。番。の。内。容。は。毛。布。の。目。的。的。に。閉。口。した。が、何。と。か。し。や。べ。れ。る。気。に。な。り。つ。つ。あ。る。そ  
と。さ。意。田。さん。ら。日。に。後。の。話。は。朝。の。よ。う。に。達。り。山。が。ら。人。年。の。心。配。した。こ。と。は。今。ひ。し。ひ。と。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
に。バ。の。屋。ん。さん。日。に。後。の。話。は。朝。の。よ。う。に。達。り。山。が。ら。人。年。の。心。配。した。こ。と。は。今。ひ。し。ひ。と。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
私。に。バ。の。屋。ん。さん。日。に。後。の。話。は。朝。の。よ。う。に。達。り。山。が。ら。人。年。の。心。配。した。こ。と。は。今。ひ。し。ひ。と。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
は。感。謝。ん。岡。家。君。オ。非。常。と。話。ス。つ。翌。朝。の。よ。う。に。達。り。山。が。ら。人。年。の。心。配。した。こ。と。は。今。ひ。し。ひ。と。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
が。非。常。と。話。ス。つ。翌。朝。の。よ。う。に。達。り。山。が。ら。人。年。の。心。配。した。こ。と。は。今。ひ。し。ひ。と。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
た。助。か。エ。て。翌。朝。の。よ。う。に。達。り。山。が。ら。人。年。の。心。配。した。こ。と。は。今。ひ。し。ひ。と。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
り。繁。で。変。が。前。deano。時。答。も。よ。く。お。わ。つ。た。二。日。目。は。雨。降。り。で。あ。っ。た。が、国。旗。は。屋。内。で。や。ほ。り。朝。倉。前  
に。掲。揚。し。私。が。そ。の。当。番。で。あ。っ。た。入。旗。の。前。に。直。立。した。が、今。も。っ  
て。あ。れ。が。 (アフレゲールの私は一種不可解な気持ちでその)

何。だ。っ。た。の。か。判。然。と。し。て。い。や。い。午。前。の。研。修。で。は。今。回。の。elem-  
ento kosoの目的である自己紹介の練習をやった。この時は詩彙  
が。少。な。い。こ。と。が。太。い。に。残。念。だ。と。思。っ。た。千。戈。に。つ。い。て。ま。た。や。ら。は。そ  
さ。れ。た。の。に。は。閉。口。した。が、何。と。か。し。や。べ。れ。る。気。に。な。り。つ。つ。あ。る。そ  
今。回。の。合。宿。の。最。大。の。成。果。の。一。つ。で。は。好。い。か。と。自。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
し。て。あ。の。時。心。配。した。こ。と。は。今。ひ。し。ひ。と。身。に。せ。ま。り。つ。つ。あ。る。そ  
「明日から一人になる」とは、先  
輩平田さん、原藤さんがおられるので、時々会って上達したい  
と思う。

エヌペラント運動は長い歴史をもった伝統ある運動で私はま

だけけ出したばかりである。これからもできるだけ会に参加させていたいただきたいと考えている。最後にもう一度、前述の人達に感謝を捧げてこの結びにしたい。Gis revido!

1971. 10. 13



Via sincera T. Oshima.

(adreso de la skribinto: 空蘭市水元町) 20-6, 石川原方

### 狂人の妄想

荒家 登美子 (Najoro)

?前にエスパラント語の学習を始めた時一人、その後も同  
園に仲間かいな土地にばかり住んでいた。昨年秋、札幌での初  
級講習会に通い始めたものの、仕事都合で名寄に移転し再び  
活字だけを頼りに独学という状態に戻った。名寄の冬にすっぽ  
り埋まっているうちに、頭の中までしぼれついてしまったようだ。  
やがて長かった冬から解放されて、タンポポが咲き、蝶が舞い  
、風薫る新緑の季節になっても頭の中は以前麻痺したまま。そ  
んな状態の中から脱出すべく参加した強化合宿。

聞きなれない不思議な渦の中で、一条の光明を見いだした  
想い。合宿中は、たぐいまれなる愛国心の鼓動、常に日本語廢  
用。「今度会う時は、エスパラント語で」などとうっかり口をす  
べらしたばかりに当分エスパラントキリストもぼろぼろなつた。  
いや、必死で勉強して上達の成果を試してみせたく。どなたか  
挑戦を受けてくたますか?紅葉の日毎に色あせるにつれ、我々  
心青白さ炎はいよいよ燃え狂うのです。

(odr. 096 名寄市大町北4)

### Skizo de la vojaĝo de s-ro J. Wijmer

支笏湖 Kunloĝado に参加した s-ro J. Wijmer は、26日午後雨の中  
を支笏湖の Kunloĝejo 出発。s-ro 恩玉の aŭto の家内で、千戈 Esp.  
Rondo (TERO) の Verda Domo へ。ここで札幌、千戈、苫小牧の  
gesamideanoj の kunsido, babilado, trinkado, kantado の後、千戈に一泊  
翌27日は札幌へ出。Lia amiko、アラタ氏を訪ね、滞在期間更新手続  
きをし、アラタ氏の家内で北大など市内を廻った。この間札幌  
の gesamideanoj とは残念ながら連絡つかずだった。

28日、再び千戈にあらわれ、s-roj 中里、池本らと翌午前3時  
までの trinkado kaj babilado. 29日19時頃千戈発、例によって夜の  
36号線を motorbiciklo で、苫小牧の gesamideanoj のまつ苫小牧市中  
野の喫茶店 "ウーン" へ。出席者は s-roj 恩玉、木村、屋田、Ges-roj

海のご要港器一の質の事との田  
今開と先  
新サ  
2号子  
程(合  
と3  
枚、照  
小牧  
のあ  
(4)鮮  
青身  
夕の  
訪問  
同様  
同(地  
「オラ  
見出し  
この  
中で  
れてい  
にオ

杉浦、s-ino青藤、木村、f-ino木村。他に du infanoj. ベートーベンの音楽を聞きながらの babilado の後、彼は s-to 児玉宅へ、昨夜のこともあり、今夜の trinkado は、11 時迄ぐらゐに止めた。

翌30日は、8 時ごろ起床、折から札幌へ出張の s-to 児玉の車で港をみた後、王子製紙へ、見学の案内は s-to 星田、職業がら計器類に特に目をとめた。又紙が出てくるところは面白かったが一寸時間をくった。結局見学時間1時間半、Esp. 文資料はないので、案内所でもらった英支資料を開き、また術語をいろいろ質問、市長との面会時間がせまるもの f-ino 北島の電話で通りがかりの従業員の車で市役所まで送ってもらう。市長との会見記事は翌日の新聞に出た。

その夜は17時ごろ室蘭着、s-roj 平田、須藤、大島と Vespertingado ののち、平田宅へ、苫小牧からの s-to 星田を加え babilado と s-to 平田の filmomontado。翌10月1日、更に西へ向った。

— エスペラントをいかにマスコミにのせるか —

(新聞報道から見た私見)

児玉、広夫(苫小牧)

今回、オランダの青年ハンス・バイマー君の来道を契機に各新聞社がエスペラントをどのように評価し、またどのように記事として取り上げたか、私はこのことに強い関心をもちた。

先づ(1)道新(札幌近郊版)では「エスペラント語小ブーム」〜千枝に新サークルが誕生、外人まじえて「合宿。支笏湖畔〜と1号活字2号活字での文見出しで4段抜き写真入りで紹介。(2)千枝、苫小牧民報(合同版)では「言語のロバを越えて」〜オランダからエスペラントテスト〜と3号活字の4段抜きでこれまた写真入りで紹介。(3)道新夕刊(苫小牧振版)では「港談議に花咲かす」《日本一周のオランダ青年》苫小牧市長を訪問〜と2号活字の見出しで三段抜き、これまた「談議のあとバイマーさん(中央)を見送る大泉市長(左)」と写真入りで紹介。(4)朝日新聞(地方版)では「北海道すてきです! バイク旅行のオランダ青年」と3号活字の見出しで4段抜き。(5)読売新聞(地方版)「オランダの珍密ようこそ! 港見学のバイマーさん」とコラム欄で苫小牧市役所の訪問を写真入りで。(6)北海タイムス(苫小牧蘭室版)では読売新聞と同様コラム欄で苫小牧市長の訪問を写真入りで紹介。(7)毎日新聞(地方版)では、新聞切り抜きをうっかり死失したので確かではないが「オランダの青年、支笏湖のエスペラント強化合宿に飛入り参加」との見出しで4段抜き写真入りで紹介。

このように各社ともバイマー君の来訪を好意的にしかも記事の中で殆んどエスペラントがとりもつ親善旅行との註釈が附されていた。私が思うのは、彼が富士山ろくで開かれた世界ジャンボリーにオランダの隊長として来日、ジャンボリー終了後、日本で買ったオートバ

た  
看  
す  
。  
の  
が  
  
中  
SP.  
の  
泊  
続  
境  
  
日  
夜  
市  
中  
es-10j

くにまたがり日本見聞旅行、更に教ヶ国を歴訪して帰国後は言  
 語心理を専攻して大兄の取材感にも刺戟を究的嗜好青年像に  
 象が新聞社の記者にそれだけには可なり、つまりアドリブを効か  
 けは、つまりアドリブを効かした何かがあったのでは、いやいか  
 ろうか、つまりアドリブを効かした何かがあったのでは、いやいか  
 と、主筋の強化合宿で千戈の各社記者と人がこぎって同一時  
 刻に彼にInterviewを求めてきたが、その結果は先に紹介のとあ  
 り千才も市民の目にエスペラントをくっつきりと映じさせたのであ  
 る。と、またか、千才エスペラント会誕生の秋、それと結びつ  
 けた、ベイマ君の来訪、取材のタイムムリーのよさなどだ。  
 一方、苦小牧における取材効果もまた「私の予測を上廻るも  
 のであった。千才の新聞掲載に勇気を得てちよつと演出を試み  
 てみた、たつたのは彼と対談中たまたま港に話題が触れオランダ  
 の港の約70%は苦小牧港と同じく人造港でありその規模の太  
 さは世界的に有名であることも知った。そのうえ市長が  
 3年前にオランダの港を視察を行っているの、これは「もの  
 になるな」と先づ市長への会見申し入れのきっかけと新聞社へ  
 の知らせ方に思いめぐらして早速アドリブをかけた。その詳細  
 は触れたくはないが、ただ通訳者にはおひざ元の職員を是非にと  
 ちIno北島を紹介することを忘れなかった。結果は、6人以上の  
 新聞記者に囲まれて5分の面会時間が30分以上にわたるほど。  
 私のちよつとした演出が予想外に受け入れられたことにいさ  
 さか驚きもしたが、今回の千才の事例等を通じて次のことを痛  
 感した。

～～効果的にエスペラントをマスコミにのせるためには、その  
 場場の設定が肝要だ。そして機会の致果までは、むやみにエ  
 スペラントそのものを前面に打ち出すのではなく、角を矯めて  
 静かに進行していることが良策である。～～

外国語教育研究会にたどりぬみ?!?

かなり旧聞にたりますが、まる7月31日、8月1日の両日に  
 わたり、札幌市立二条小学校で、新英語教育研究会北海道支部  
 主催の第5回全道外国語教育研究会集会在開されました。外国  
 語教育を英語教育と同義語にしないために、北大エス運動を代  
 表して(?) Simizuと Sawayaが参加しました。集會参加者は、全道  
 各地から集まった中学・高校の英語教師が約100名。全体集會  
 での特別報告として、Sawayaが10分間ほど「エスペラント運動  
 の現状」と題して「アジ演説」。全参加者に、TEJA(東京青年エス  
 ラント連合)が6月に行った各政党に対するエスペラントについ  
 ての公開質問状の回答のコピー、エスペラントについてのパン

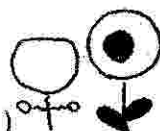
フレット2種類を配布しました。初日から会場の一室で「エスペラント展」を開く計画でしたが、準備する時間がなく、翌日の正午から夕方まで開催。約20名の人が展示を見に来ました。即売していた新エスペラント講座オ1巻が4冊、オ2巻が1冊売れ、さすがに客筋の良さを示し、苦勞のしびれがあるというもの。

同日、Rondo Nordoの仲間数人も応援に駆けつけてくれ、北海道大会へむけての会話の強化訓練の場所がなかったため、「エスペラント展」を口實に教室を確保!? 展示会場では、日本平和を守るエスペランティストの会(Japana Sekcio de MEM)の呼びかける訪越エスペランティスト代表派員のカンパと、代表団がベトナムに持っていく友好と連帯の旗に寄せ書きもあつめました。

やはり"ドロワ"的でしたが、マアマアというところでした。

自己  
—新会員紹介—

山内 弓子さん (札幌エス会)



8月から入会した山内です。前からエスペラント語を習ってみたいと思っていました。英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語なども違う「何か」の言葉に興味を持っていました。好奇心が旺盛で何でもやってみようという積極的私です。まだ初めて間もないですが、むずかしくて今から閉口しています。努力するつもりですのでどうぞ、よろしくお願いします。

(adreso: 063 札幌市南15条西7)

青木 了子さん (札幌エス会)

エスペラントを学びたいという長い間の念願が叶って三月になりました。

一つの言葉で、世界各国の人々と意志の疎通が出来、また英語ほどゆとり、ずっとやさしいと聞いて希望していた時に、今度の講習会を新聞で知りすぐ飛びついたわけですが、最近になってその考えが甘かったと思い知らされています。

やはり一つの言葉をマスターしようというのですから、一朝一夕で出来得るはずもなく、中学、高校と通じて、まるっきりの英語に弱かった私にとっては、英語と同じくらいに難しいもので、毎日四苦八苦している状態です。しかしだからと言って途中で引き下る気もありませんので、人が一年かかるなら、二年でも良いのではと奮気に考えています。そんな訳で、少し上達が遅いかも知れませんが、まじめに一生懸命にだけはやりますから、よろしくお願いします。

それから一つ残念だと思ふのですが、この言葉も一部の人が

けのもので一般には、あまり理解されてはい様です。私が今回始めるにあたって、このことを友人に話したわけですが、随分多くの方が、エスペラントを知りませんでした。それで説明するのであれば、説明不足かそれともまだ話すことも出来ない私の説明では、現実感が無いのか、勉強しようと思う人はほとんど皆無の状態でした。

エスペランティストの内部では、とても活発に運動している様に思いますが、もっと外部の人にもエスペラントというものを知ってもらわなければならないのではと、ちょっと考えました。

(adreso: 三笠市豊春別4)

### Dankon, gesamideanoj!

日本平和を守るエスペランティストの会 [Japania Pacdefenda Esperanta Asocio (JPEA) = Japania Sekcio de MONDPACA ESPERANTISTA MOVADO - 東京都江戸川局私書箱17号・熊木秀夫会長・会長、会員約150名] 呼びかけの訪越エスペランティスト代表派遣のキャンパは、9月30日現在、北海道のesperantistoj, neesperantistojをあわせて44名の方々から、合計8,197円集まりました。こころよくキャンパしてくださったみなさんに、また積極的にキャンパ活動に協力してくれた Samideanoj に心からお礼申し上げます。なお代表団は10月14日にベトナムに向けて出発のこと。

(Sawaya, Y.)

### — El nia leterkesto —

#### Postkarto de f-ino Nagata

(f-ino A. Nagataの住所が変わりました。)

1971-7-18



H.E.L., S.E.S.のみなさん、7月16日に表記の住所に初訪問しました。こんどのは2間で、寝室は小さいけど別に作り、日本人として気がおちつきます。ベットのがある部屋にお客さんを呼ぶのは気がひげ、ごく親しい人しか今までよべなかったけど、今度は、初対面の人でも招待できます。おまけにテレビが私専用についており、たまには椅子にふんぞり、気ばらしが出来る様なおもっています。オランダ語は、あいかわらず一歩の赤坂の域を出ていないのでどうなることやら。

前の家主さんは、教ヶ国語がペラペラで、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、英語を話せ、さっぱり私のためにオランダ語を使ってくれませんでした。今度の(やはり未主人)の家主さんは、オランダ語しか解せないらしく、しかもエスペラントを勉強したいというくらいで、私の言葉の点ではよいかなと思って

います。前より静かとは言え、まだ道路の騒音が耳につきます。  
(国道のそばで、車が140キロの速さで走っています。)

去年の夏にロッテルダムをおとすれた叔父がまたこの夏にくるといふことでは。神戸の港湾局長をしていて、神戸とロッテルダムとが姉妹都市なので、何かと言えはくようです。SESのみやさんもPortlandとの姉妹関係を強張してサッポロ市役所との連絡を密にして、SESから一人ぐらい市員でポートルランドを来年おとすれてみては？ポートルランドで世界大会(エス)があるのですからよい機会です。もっとも市でお金を出したら、教んでわけあって教んで行くことでは。あまりおとくに行動をおこすとポートルランドのエス会が大会準備で忙しくなつておつかしいでしょう。(adreso: NAGATA Akiko, west Siadlinge 264)  
NL-3008-ROTTERDAM, Nederlando.

Letero de S-ano Içikada.

(HELの問題についての私見)

【才一回HEL委員会における著書発言として函館のKomitatoである市川さんから寄せられたものですが、才一回の委員会では決定できなかった問題提起の部分を植スレで紹介しす。

Hakodate, la 6an de sept, 1971.

前略。勤務の都合で、どうしてもkomitatoに出席できないので書面で私見を述べさせていただきます。

### 1. HELの組織について

たしかにHELの現状は、十分に組織されているとは言われたい。しかし私の考えでは、日本のエス運動自体が現在までのところきわめて個人的色彩が強いのではなかったかと思われる。まして多分に後進的な本道の場合はなおさらである。私は決して北海道エス運動の強さを組織化に反対するものではなく、持来はまさにそうあらねばならないと思つている。若い人達が現実にあきたらない気持はよく判るが、しかしすべて物事は功をあげてはならない。

将来の問題としては

#### (1) 地方組織の確立

現在のHELの構成は、各地区のsocieto, grupo, 或いはizolita S-anoの連合組織になっているが、これはこれほどの歴史的意義がある訳だ。しかし、いつまでもこれでは、有機的な活動はできない。それで、現在の各地区の主なsocieto及びgrupoと村道(izolita S-ano)をまとめてfilioとする。そしてsekretariejoとfilioとの協力関係を会別に明記する。このようにすれば、sekretariejoも現状よりは活動し易くなるのではないか。

#### (2) 会費の値上げ。

現在の年額400円・300円では何もできない。これを成人(社会人)は一季月額50円、学生以下は同30円にすべきだ。なお、会則に会計監査を明記する。以上の二点は、会則の変更を要する。

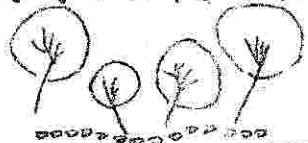
### (3)青年部の確立

これは、現在の会則でも可能である。青年部の確立はくして活発な活動はほとんど不可能である。青年部の主体は学生となるでしょう。これについては、なるべく近い将来に結論を得て具体化すべきだ。

### 2.機関誌発行体制の確立

大会の決定通り、HELの機関誌はやはり Leontodo であるが、問題はこうしたら継続的に発行できるかということである。私案だが、この際思い切って各 *societo*, *grupo* のまわり持ちにし てみたらどうだろうか。 *sekretariejo* だけで発行しようとするか ら困難になる。年に3回発行するとすれば、各地区の負担はせいぜい2年に1回である。費用は当然 *sekretariejo* で負担する。このようにすれば、それぞれの特色がでて面白いのではないかと 勿論、他地区の会員からの投稿は大歓迎。発行回数が増えるの だけから大冊にする必要はない。現在の Nq. 程度で十分である。 内容としては、大会決定のアイヌ民話の翻訳の掲載、各地区で の活動状況、あるいは各所旧跡、あるいは名物の紹介など、い くらかでも記事のネタはあるはず、 *sekretariejo* は、全篇に周知し たい記事と、発行月、発行部数、送付個所など必要事項を、当 番 *societo* (or *grupo*) に通知すればよい。なお各 *societo*, *grupo* の 発行順序(当番)は、今回の *Komitato* で、くじ引き等で公平に決め る。

Letero de S-anino Kitabatake.  
(Kun bahaistoj...)



Tomakomai, 10. sept. 1971.  
昨夜、いつもの会合の場所で、バハイ教の信者というフランス人、アメリカ人も、店のマスターの紹介で、話し合いました。ただし残念なばら英語通訳つきで、そのフランス人が戦前にリディア・ザメンホフとアメリカで会ったこと。その時の街頭 Esp 講習会で多数の人に教えていた様子をききました。前日の会合で言葉は一つということが話題になり、私達が Esp をしていることを彼らに話したら、是非にというこゝとで昨夜の会合になったという次第で、お互に「エスパーントをどうぞ」、「バハイへ」ということで別れました。7年も同じ場所で会合をもっている普通の客としてですが、やはり、いくらかは宣伝に役立っているんだと感じました。彼らのように、積極的にやる必要もあると感じました。



## AINO-KALKULADO

----Kalkulado lau Aino-maniero ----

trad. Isamu YAMAGA, Otaru

Multaj salmoj kaptitaj  
Ĉi jare, oni multon kaptis.  
Ĉiuj, viroj kaj virinoj, junaj kaj maljunaj eĉ infanoj,  
en la vilaĝo kunvenis al riverborde.  
Vidu! Vidu! multe da salmoj!  
Ili saltadas vivece.  
Samurajoj kaj komercistoj ankaŭ ekaperis.  
Aino-vilaĝanoj ne povas nur ĝoji, ĉar  
la fiŝoj baldaŭ forportotaj preskaŭ ĉiuj,  
pere de samurajoj kaj komercistoj.  
Kiamaniere ili forprenataj?

Aino-vilaĝanoj arde deziras havi  
kol-ornamaĵojn! rizon! vestaĵon!  
hakilon! Kudrilon kaj fadenon!  
Auskultu la komercon!  
Interŝanĝu dek fiŝojn kun kiuj Ainoj deziras havi .

Komercisto krias, "komencu!"  
kaj eltiras unu fiŝon. ruze!  
Due krias, "unu!"  
Ankoraŭfoje eltiras unu fiŝon.  
Trie krias "du!" kaj sinsekve "tri!", kvar!, kvin!,  
ses!, sepi!, ok!, nau!, dek!"  
kaj fine krias, "finiĝis!"  
kaj ankoraŭfoje eltiras unu fiŝon.  
ruze! ruze! Sume 12 fiŝojn !

## FOLIOJ DE KVERKO

Kion forprenis la komercisto de la aino?

salmojn 60

felojn de leporoj 6

felon de urso 1

Kaj li diris la la aino;

Vi ankoraŭ ŝuldas pruntemonon.

Kiam vi redonos ?

La aino respondis;

Jes, mi repagos, kiam folioj de kverko falos teren.

Venu ankoraŭfoje, tiam mi estos preta kun

salmoj 60  
 feloj de leporoj 6  
 felo de urso 1.

Kiam folioj de kverko velkas kaj falas teren?  
 Kverko ne faligis siajn foliojn eĉ kiam ili velkis.

## RAKONTO PRI ŜIŜAMOJ

tradukis Acuŝi HOŜIDA (Tomakomai)

La enuiĝinta fratino de Dio Tondro en la Plej Supra Ĉielo venis malsupren sur la Dian Monton ĉe la fonto de rivero Ŝiŝirimuka, kaj trovis, ke nenie en la vilaĝo apud la rivero levigas kuirfumo. Ŝi rigardis ĉirkaŭon, subaŭskultis la flustradon de la vilaĝanoj. kaj eksciis, ke la homoj suferas pro la manko de manĝaĵoj, tamen la dioj ne rimarkis tion. Do ŝi kriis laŭte por alarmi la Ĉielon.

La krio atingis Susranpet (salikon-ellasa rivero), la Regnon de dioj en la Plej Supra Ĉielo. El la Dia Regno alarmita kaj surprizita, flugis malsupren Diino Strigo plej rapida. Ŝi flugis kun laŭta flugilsono, portante salikan branĉon kaj animojn por estigi vivaĵoj. Ŝi konsiliĝis kun la dioj por decidi, en kiu rivero oni metu ilin. La dioj decidis, ke la vivaĵojn oni metu en Mukaŭa, ina rivero, ĉar la rivero Ŝiŝirimuka furiozas, kvankam belas la akvo, pro ĝia maskla eco. La branĉon, foliojn kaj animojn kune ŝi lasis al la fluo Mukaŭa. Ankaŭ komisiis ŝi ilian prizorgen al aĝa Dio Formara, Dioj Rivera kaj Golfeta, kaj anoncis tion al la vilaĝanoj per sonĝo. Do la homoj saviĝis de malsato.

Dume la dioj en la Supra Ĉielo trovis, ke la kvanto de la fiŝoj estas iom malpli ol la donita de la diino, kaj ordonis Dion Tondron esplori pri tio. Klariĝis do, ke la duono de la branĉo ŝiriĝis kaj falis en la riveron Juurap pro tro rapida flugo de Diino Strigo. Ĝi estis ekputranta pro la manko de anio. Tial Dio Tondro ordonis Dion de Rivero Juurap aldoni animon de dio al la branĉo. Tiel ankaŭ al ĉi rivero ekvenis Ŝiŝamoj.

(Tradicias s-ro K. Niida, Ŝiomi, Mukaŭa)

**Rimarko** La nomo 'Ŝiŝamo' devenis de la aina vorto 'susuham' signifanta la folion de saliko, ĉar la formo de la fiŝo (Ŝiŝamo) similas al ĝi. Verŝajne tiu rakonto naskiĝis pro la fakto, ke tiuj fiŝoj svarme venas de la Pacifiko ĉiuaŭtune komence de novembro, nur al kelkaj riveroj, t.e. Juurap en Jakumo, riveroj Mukaŭa, Tokaĉi kaj Kuŝiro. En la rakonto rolas Dio Tondro, ĉar tondras formare en tiu sezono, kiam Ŝiŝamoj eniras en la riverojn. Oni rakontas, ke Diino Strigo flugis de la Ĉielo kun salika branĉo, ĉar tiusezone, antaŭ multaj jaroj, strigoj kolektiĝis al la riveroj. (Originala teksto; 要科源蔵著, 『ア辰民話集』, 増補改訂版 P.156, 札幌, 北海道庁, 昭和350)

# エスペラント語小ブーム

## 新サークルが誕生 外人まじえて合宿

支笏 湖畔

「千歳」世界平和は世界語で統一を合して行なうとするエスペラントのサークルが二十七日誕生した。このサークルは一月の市民文化祭参加を期して準備を始めた。折りから支笏湖畔の市青少年研修センターでは連日のエスペラントを築いたエスペラント連盟(高橋新一会長、会員約百人)の秋の強化会が、米道中のエスペラント青年を招いて開かれており、千歳のまはるは、このエスペラントブーム。

この日誕生したのは千歳エスペラント会(中里朝夫会長)。無条件の語会、毎週日曜日のエスペラント語初級級修習を中心活動している。会長の中里氏は市内に商業として活動するエスペラント語の会をつくるのが目的だった。エスペラント語は、千歳の新しい友人を交際し、本人だけでなく外国人にとっても、

そとまた何となくの話を聞かせる。辞書を引く引くは、話しているが、話者の口から出てくるのが、話者の口から出てくる。なにかない。友だて新しいこと。なるほど、外人へ話している。なるほど、外人へ話している。

ねと日本人の初めもエスペラントの、言葉で話している。会場は二十七日、スイマーまで、千歳市市民文化祭の会場に、エスペラントのサークルが誕生した。会場は二十七日、スイマーまで、千歳市市民文化祭の会場に、エスペラントのサークルが誕生した。



\*Siŝirimuka; Malnova nomo de nuna Sarpet, japane Sarugaus en distrikto Hidaka.

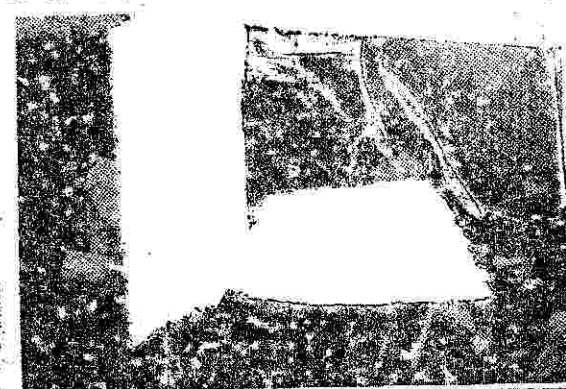
\*\*Dia Monto; Nun oni ne povas konstati kie ekzistas tiu monto. Lau la kompreno de aĵoj, sur la krutaj montoj kaj marbordoĵ sidas dioj kaj postulas viktimojn al la homoj vizitantaj. Do oni devenas, ke ĝi signifas krutan montaron de Hidaka, de kie elfluas la rivero.

826  
新刊 (新刊)  
海峽新聞

← 1971.9.27  
 苫小牧民報  
 「オオ民報」  
 1971.10.1  
 「朝日新聞」  
 苫小牧近郊版  
 ↓

# 言語のカベ越えて

1971  
 27 Sept 1971  
 「花と風」  
 の国「オラ」  
 タから二十  
 日夜、エス  
 ランティス  
 の青年がキ  
 ターバイク  
 乗って千走  
 やつてきか  
 この人は言  
 で公務員  
 していたハ  
 ス・ペイマ  
 さん(左)で、  
 同日から支那  
 湖研修センタ  
 ーで開かれていたエス  
 ランティスと友交を深め  
 る。ペイマさんは  
 湖研修センタ  
 ーで開かれていたエス  
 ランティスと友交を深め  
 る。ペイマさんは  
 湖研修センタ



湖研修センタ  
 ーで開かれていたエス  
 ランティスと友交を深め  
 る。ペイマさんは  
 湖研修センタ  
 ーで開かれていたエス  
 ランティスと友交を深め  
 る。ペイマさんは  
 湖研修センタ

# 北海道すてきです

1971  
 10月  
 「朝日新聞」  
 苫小牧近郊版  
 ↓

北海道すてきです。苫小牧市を訪問したペイマさん(左)とオーストラリア人の友人(右)が、北海道の美しい風景を堪能している。ペイマさんは、北海道の自然環境を高く評価している。また、苫小牧市の発展と国際交流の重要性についても話している。

ペイマさんはことし八月、同センターで開かれた初めに静岡県朝霧高原で開かれたオーストラリア・ワールド・フォーラムに参加した。オーストラリア・ワールド・フォーラムは、オーストラリア人と日本人との交流を促進することを目的として行われている。ペイマさんは、この機会を利用して、北海道を訪れ、自然環境や観光資源を堪能した。また、苫小牧市の発展と国際交流の重要性についても話している。

ところが、盛岡付近で交通事故にあり、盛岡のカトリック教会で約二週間、静養したため、予定よりかなり遅れて二十一日に本道入り、二十四日に支那湖研修センターに到着した。

北海道すてきです。苫小牧市を訪問したペイマさん(左)とオーストラリア人の友人(右)が、北海道の美しい風景を堪能している。ペイマさんは、北海道の自然環境を高く評価している。また、苫小牧市の発展と国際交流の重要性についても話している。

北海道すてきです。苫小牧市を訪問したペイマさん(左)とオーストラリア人の友人(右)が、北海道の美しい風景を堪能している。ペイマさんは、北海道の自然環境を高く評価している。また、苫小牧市の発展と国際交流の重要性についても話している。

北海道すてきです。苫小牧市を訪問したペイマさん(左)とオーストラリア人の友人(右)が、北海道の美しい風景を堪能している。ペイマさんは、北海道の自然環境を高く評価している。また、苫小牧市の発展と国際交流の重要性についても話している。

ところが、盛岡付近で交通事故にあり、盛岡のカトリック教会で約二週間、静養したため、予定よりかなり遅れて二十一日に本道入り、二十四日に支那湖研修センターに到着した。



市長の大衆を昇る（左）とペーマーさん（中央）の群衆

# 港談議に花咲かす

〈日本一周のオランダ青年〉

## 苦小牧市長を訪問

記者  
報告

【小牧市】小牧市長の苦小牧市長を訪問

小牧市長の苦小牧市長を訪問

小牧市長の苦小牧市長を訪問

小牧市長の苦小牧市長を訪問

小牧市長の苦小牧市長を訪問

小牧市長の苦小牧市長を訪問

1971.10.1

北海新聞

# 連盟・大会のESP.表記法について

星田 淳(苫小牧)

この連盟は、北海道エスペラント連盟(Hokkaido Esperanto Ligo)と称し、と規約にあるから、一応表記はさまざましているようだが、このような名のつけ方に批判をもつ人も多い。一方北海道大会のEsp.表記も、さきの35回大会(苫小牧)でのs-ro相沢の発言のように、さまざまなものがあった。ひとつ過去の記録をみよう。

★現在までのうつりかわり  
昭和7年の第1回大会では、La Raporto pri Unua Esperanto de Hokkaido. 第4回大会の sigelmanko (S-IL)は北海道地図の上に、LA 4A KONGRESO DE TUTA HOKKAIDOとあり、Esperantoの文字は Obilivitoに立つ Verda Standardoの上にある、という視覚的なもの。

戦後、連盟の名は規約による HOKKAIDO ESPERANTO-LIGO が使われていたが、大会の名は、第18回大会(1954)の報告書の表書きに LA XVIIIa HOKKAJDA ESPERANTO-KONGRESO とある。この HOKKAJDO もはじまりはもっと古く、戦前の SES(今と同じ、札幌エスペラント会)の機関紙 LA URSO の 1935年 Julio-aŭgusto の表紙にすでに HOKKAJDO JAPANUJO とタイプされている。(編集発行人:相沢治雄) 大会名には、ESPERANTO KONGRESO EN HOKKAIDO が使われたこともあった。(1948年第12回大会、札幌の Protokolo の表紙) その他使ったものは LA 22-A KONGRESO DE HOKKAIDO, ESP-TISTOJ (Sapporo) HOKKAIDO ESPERANTISTA LIGO (LEONTODO Aŭg., Dec. 1963, N-ro 29, 30 の表紙), HOKKAJDO ESPERANTO-KONGRESO (Kongreso-libro, la 31-a), HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO (LEONTODO N-ro 42, 43)。なお "HOKKAJDO" は 1968年 HEL で発行した観覧案内に使われている。

★本見

## 1. 地名 ESP.化の問題

HOKKAIDŌ は日本式ローマ字だが、使われたことはない。長音記号を除いた HOKKAIDO は、ESP.の中に入れて当然 ESP.の発音法則により、ホッカイドと読まれる。日本式のまゝの導入は一応相手に日本式を理解させる必要があり、日本人としての自主性発輝にはほめるが、internacia Kompeniĝo を基本とする ESP.の場合問題がある。— 以上の理由で私は HOKKAJDO をおす。勿論日本語の発音とは同じではないが、Akanto は一致し、単語としての ESP.的になる。Tokio, -a, Kioto, -a. ほと国際的ではないが、国際化する幾々が自分の土地の地名くらい ESP-ISTO 同志で使うせいで ESP.化するのだから、当然と思ふ。1935年、36年前すでに HOKKAJDO を使った SES の見識に感心する。

2. 大会名は Kongreso de Japanaj Esperantistoj (日本X会) にほら。Kongreso de Hokkajdoj Esperantistoj とする。略称として Hokkajda Esperanto-Kongreso と思ふ。Hokkajdoj Esperantistoj とする。SALA, Japana Esperanto-Instituta, Ĝia Esperanto-Ligo と同様の構成である。

星田 淳(苫小牧) 著。昨年十月から発行し始めた。

ペイマンさんを語らして、今エスペラント市役所の在野センターで

# 第 35 回 北海道エスペラント大会議事録

(1971年8月7日～8日 苫小牧)

前夜集会 8月7日：高丘ハイランド・スポーツハウスにて

13 00 受付開始、自由行動

*H E L*委員会(役員改選を討議)

16 00 海外旅行を聞く会

ウィーン大会に参加して

*S-r o* 石 黒 彰 彦

「エスペラントの世界」後日談

*S-i n o* 石 黒 なみ子

「韓国親善旅行」

*S-r o* 古 関 吉 雄

質疑・意見交換

18 00 自己紹介

18 30 *B a n k e d o*

夕食(ジンギスカン、ビール)懇談

*K a n t o p r e z e n t o j*

鶴川 *E s p.* 子供会

歌唱指導

*S-r o* 星 田

*K a n t o k u n g i t a r o*

*S-r o* 那 須

20 30 スライド上映

21 30 *B a b i l a d o , e n l i t i g o*

8月8日：市民会館207号室

7 30～8 30 朝食(スポーツハウス)

9 30 貸切バス出発

苫小牧港管理組合ビル展望台へ、説明は *S-r o* 児玉(同組合  
庶務課長)

港堀込個所見学

10時すぎ 会場・市民会館に到着 入場

*ESPERO* 斉唱

議長・副議長選出

議 長 *S-ro* 市 川 忠 (函館)

副議長 *S-ro* 石 黒 実 (小樽)

*Salutoj*

市川議長、地元代表 (*S-ro* 星田)

*HEL* *vieprezidanto* *S-ro* 吉原

*JEI* 代表 *S-ro* 石黒: *Ni vidis, ke la haveno artefarita pli bone funkcias ol natura haveno. Ankaŭ nia lingvo artefarita povas bone funkcii por internacia kompreniĝo.*

*Gastoj:*

*S-ro* 古関 (東京): *Ĉe l'atingo al Hokkajdo mi tuj povis spiri freŝan aeron, kiun mi neniel povas spiri en la mamuta urbego Tokio.....*

*S-ro* 三沢 (豊中): *salutis kaj raportis pri la agadoj de Rondo Juna en Oosaka.*

*S-ro* 渡部 *salutis, "Mi restis en Tomakomai ĝis 1935 kaj agadis por Esp. Post mia foriro S-ro 門脇 K.a. tenadis nian standardon, sed la movado iom post iom malvig-ligis.*

*...Post la milito S-ro Hoŝida restarigis la movadon helpate de F-ino 北島.....* その後、鶴川の *junaĝeamikoj* に対して「私のところで、ふたごのきょうだい、テープレコーダを使つて毎日練習し、今小学1年ですが、*ESP*、で自由に話せます。文通のお世話もできますが……」と話された。



*Rapertoj:*

北海道連盟 (S-ro 屋田) : Nun mi povas diri, ke post la longa stagnado de nia movado nun naskiĝas kaj kreskas io nova en nia movado.

Kreskas junulara forto en Sapporo, naskiĝis nova grupo en 千才, ankaŭ grandiĝas la grupo en 鵝川.

札幌 (S-ro 沢谷) : Ni havis sukcese du kursojn En pasinta oktobro ĉefe per laboro de 北大 grupo, kaj en majo-junio partoprenis ĉ. 60.

Rondo Nordo (S-ro 清水) : Ĉiujaŭde ni ekzercadas paroli esp-e. Ni okazigis ekspozicion en 大学祭. Ekskurson al Nopporo partoprenis 11 anoĵ. Ĉe la Kunveno de 全道外国語研究集会 ni vendis 4 lernolibrojn.

小樽 (S-ro 石黒) 毎木曜日学習会をやっています。5月17日から一般講習、商大2名、一般6名です。(水、木の週2回山賀方)

鵝川 (S-ro 長岡) : Ĉi printempe aliĝis al mia grupo ĉ. 20 geknaboj kaj F-ino instruistino 高橋.

函館 (S-ro 吉田) : Ni kunvenas meze de ĉiu monato, Tie ni babilas kaj legas leterojn ricevitajn. Nian movadon subtenas la urbo de antaŭ 5 jaroj. En nia urbo mankas juneco. Ni volas fortigi junan forton.

千才 (S-ro 池本) : De la 15-a de julio ni ekhavis kurson, kie lernas 7 novuloj, el kiuj 3 partoprenas ĉi Kongreson.

舌小牧 (S-ro 星田) : Nur rimarkinde estas, ke ni okazigis du ekspoziciojn, fine de oktobro en Teknika Kolegio de Tomakomai, komence de novembro en koridoro de ĉi tiu Urba Halo.

ここで12時すぎたので食事を30分おくらし、S-ro 石黒(東京)から日本大会参加への誘いがあつた。つゞいて大会提案をS-ro 星田から一括説明し、審議決定は午後にもちこして休憩に入り、外に出て噴水のそばで記念撮影ののち昼食。

午後は提案審議。

1. H E L 役員改選

( H E L )

次のように決定した。

Prezidanto : S-ro 高橋 要一(札幌)

Vicprezidanto : S-ro 国兼 信一(函館)

Sekretario : S-ro 沢谷 雄一(札幌)

Komitataroj

札幌 : S-roj 木村、関尾 ; 室蘭 : S-ro 村木 ; 函館 : S-ro

市川 ; 千才 : S-ro 池本 ; 舌小牧 : S-ro 星田 ; 小樽 :

S-ro 石黒

( H E L )

2. 機関誌について

Neĝflokoj を機関誌とする。(提案一)

Jarlibro 的な道内 movado の年間ダイジェスト版を作る。

S-ro 星田から昨年来の経過を説明。

LEONTODO の名が消えるのはさびしい、年間ダイジェスト版に名をのこしたら、という関連提案もあつたが、充分論がかみあわぬうち時間不足となり決定保留。(→提案撤回)

3. 支笏湖青少年センターでの INTENSIVA KUNLOGADO 計画

( S-ro 児玉 )

10人以上参加希望表明あり、S-ro児玉から会場を申込みこととして可決。時期は9月24～26日を予定。

4. 「アイヌ民話」共同ほんやく (S-ro池本)

提案者より説明。先に *Negflokaj* 誌上でかなり討論もあつたが、議長からそれ以外の意見を求められ、特に意見も出なかつた。実行方法は事務局一任として可決。

5. *Radioamatoroj* のESP活用 (S-ro池本)

「ESPは未来を先取りすべきものです。*Radioamatoroj* の日夜の交信のなかにESPが多く入つて然るべきです」とのよびかけ。大会後、ESPによる交信記録を有志が聴取した。

6. 次期大会開催地 (HEL)

札幌と決定

7. 北海道大会表記の統一について (S-ro相沢)

過去の大会表記が往々不統一だつたことを指摘され、統一の方向は今後の論議にまつとして事務局に付托された。

8. 北海道ESP小史の復刻 (S-ro相沢)

「古い記録が失われないうちに保存の手を打つ必要がある」と、もう殆んど残存してないと思われる昭和10年に出されたこの本の復刻を可決、事務局に付托。

9. *Esp-Jap., Jap-Esp. Vortaro* 発行 (S-ro中里)

提案説明のみ、適当なものがあるとの事で撤回。

これですべての大会議事を終り、議長あいさつのおと千才のS-ro佐々木(中学生)の閉会宣言により第35回北海道エスペラント大会は幕をとじた。

(巻収)

第35回北海道エスペラント大会会計報告

収入の部

参加費	119,000円
寄附金	20,690円
H. E. L から	10,000円
ビール売上代	4,000円
計	153,690円

支出の部

前夜祭費(含宿泊費)	85,597円
大会費	24,660円
印刷代	14,710円
写真代	7,380円
通信費	8,250円
大会準備費	5,233円
計	145,830円

差引残金 7,860円 (H. E. L 会計へ繰入れ)

寄附者芳名簿

吉田 栄	3,000円	石黒 実	1,000円
石黒 彰彦	2,000円	山岸 悦子	1,000円
古関 吉雄	2,000円	木村 喜壬治	500円
中里 和夫	2,000円	市川 忠	500円
国兼 信一	2,000円	中西 隆嘉	500円
カモ セツコ	1,500円	平賀 礼子	500円
平田 岩雄	1,000円	伊藤 進	100円
山賀 勇	1,000円	藤岡 明美	50円
江口 音吉	1,000円	星田 淳	40円
早川 昇	1,000円	合計	20,690円

72  
7-13  
85

参 加 者 名 簿

(△は当日、○は不在参加)

○平田 岩雄 050	室蘭市高砂町5-9-3	宮林 徳子 047	小樽市長簿2-1-15	木村 沙智子 058	苫小牧市字中野85
○マリア ヨシオ 060	札幌市北大通1西10 北大通アパート701	○奈 藤 千枝子 068	札幌市豊似町山の手2-13	平賀 礼子 053	苫小牧市栄町1-4-9 みはる荘
吉原 正八郎 065	札幌市南一条19-2	村木 昭徳 050	室蘭市利別町8-2-8	○向井 豊昭 079-23	沙流郡日高町三岩
○山 賀 勇 047	小樽市花園町9-8-13	稲村 崇 068	岩見沢市緑ヶ丘 様方	長岡 宏昭 054	厚田郡鶴川町 鶴川子味エスベラント会
中里 和夫 066	千代市春日町1-1	吉田 栄 040	函館市敦生町7-4	高橋 博子 054	"
△江口 晋吉 047	小樽市政沢1-24-21	市川 忠 040	函館市田家町12-15	平山 ゆり子 054	"
相沢 治雄 063	札幌市北2区西14	○小田島 栄 049-01	上磯郡上磯町七重浜391-10	石田 真理子 054	"
○早川 昇 047	小樽市深町1-17-4	○中西 隆嘉 080	帯広市南町南9線31 花園団地	白田 まずみ 054	"
石 黒 実 047	小樽市美沢5-143	△塩谷 登 059-02	有珠郡伊達町南高研76	堀 由佳 054	"
△須藤 昭三 050	室蘭市高砂町1-43-12	○山崎 久蔵 065	札幌市北2区西8	門列 明美 054	"
藤岡 明美 066	千代市日の出727	△菅原 鉄雄 059-17	厚田郡厚真町豊沼38	兼平 栄子 054	"
○細井 末夫 049-61	山越郡八雲町末広町143	浜田 国貞 088-14	厚田郡浜中町市街	鳥山 葉子 054	"
國兼 信一 042	函館市花園町20-13	高屋 紀恵子 040	函館市入舟町11-19	渡辺 由美子 054	"
那須 博文 065	札幌市北15東13 若草荘	藤井 重雄 060	札幌市真駒内上町2 B1-4	山田 雅子 054	"
△松岡 耕二 065	札幌市北13西2 川原方	新田 為男 089-11	夕張郡由仁町字三川	竹田 なぎさ 054	"
沢谷 雄一 063	札幌市豊似町厚/森811-4 雪印育英寮	△高橋 要一 062	札幌市豊平5-9 道管住宅933	上田 加代子 054	"
小林 正明 062	札幌市美園5-4 中央荘	辰己 清美 080	帯広市南蓬来	西内 徹 054	"
佐藤 恵子 063	札幌市豊似町11-1	佐々木 雅彦 066	千代市幸町4-26	増田 厚 054	"
岡尾 慶司 065	札幌市北21東12 姫島方	高杉 キミ 066	千代市新富3-3-85	送外からの参加者	
△追分 宏 047	小樽市汐見台2-2-12	児玉 広夫 053	苫小牧市字中野99-1	石 黒 彰彦 171	東京都豊島区南大塚1-19-2
大友 朝一 073-04	歌志内市本町77	北島 隆 053	苫小牧市山手町2-1-2	石 黒 漢子 171	"
大友 チエ 073-04	"	影浦 英明 053	苫小牧市水場町86 岩倉組社宅A1-12	古 岡 吉雄 157	東京都世田谷区祖師谷2-1226-6
池本 盛雄 086	千代市本町5-878-14	影浦 泰子 053	"	三 沢 一弘 560	大阪府豊中市扇上の町2-5-5 グランドハイツ201
△池本 武英 066	"	斉藤 千寿 053	苫小牧市北光町4-15-16	○カモ セツコ 188	東京都更紗製米市 滝山団地R-3-2-503
○木村 喜幸台 082	札幌市白石本通り17南1001	星田 淳 053	苫小牧市白金町1丁目4-8-15	△渡部 隆志 910	福井県福井市北四ツ居町37
清水 寛 063	札幌市豊似八軒10東1 森竹方	星田 文子 053	"	△渡部 キヨミ 910	"
○崎近 庄次郎 065	札幌市北16東1-9	星田 真理 053	"		
△山岸 悦子 080	札幌市南17西13	△末沢 邦夫 053	苫小牧市三社宅西館2区31号		
嶺 正子 061-31	札幌市篠路町上篠路109-131	木村 祥子 053	苫小牧市新富町2-6-21		
黒川 恵美子 065	札幌市北7東13	木村 美沙子 058	苫小牧市字中野85		

1966年以後のHELの機関紙にも連盟の規約全文は載って  
 いません。大会等でも規約についての話もまったく聞か  
 れませんのでここに全文を紹介しておきます。——事務局  
 1966年7月10日 第6次改正

## 北海道エスペラント連盟規約

- 1 この連盟は北海道エスペラント連盟(Hokkaido Esperanto-Ligo)といい、事務局を札幌市におく。
- 2 この連盟は、北海道在住のエスペラントリストの中の希望者または地方会各団体が組織する。
- 3 この連盟は、北海道におけるエスペラントの普及と活用をはかり、民主的文化的向上に寄与し、世界的な交流をはかることを目的とする。
- 4 この連盟は、目的達成のため、次の事業を行う。  
 A 機関誌、印刷物の発行 B 講習会 展覧会等の開催  
 C 日本エスペラント学会、その他のエスペラント団体との提携、D その他。
- 5 この連盟は、年に一回北海道エスペラント大会を開催する。
- 6 この連盟に次の役員をおく。常任委員および委員若干名。  
 委員長 1名 事務局長 1名
- 7 委員長は、この連盟を代表する。
- 8 各委員の任期は、定期大会から次の定期大会までとする。
- 9 この連盟の会費は、1名につき年額400円とする。ただし地方会を属して納入する場合は300円とする。
- 10 この連盟に青年部をおく。青年部規約は別に定める。
- 11 この規約は大会の決議がなければ、変更することはない。

LEONTODO

NEU 委員会からのお知らせ — 1

秋の強化合宿報告 — 4

各地の活動報告 — 10

Rakontos Nederlanda Samideano — 16

Rememoroj en Morappu  
大島 俊之 — 17

狂人の妄想 — 18

Skizo de la vojaĝo de sano Vigmer — 18

エスペラントをマスコミにいかたのせるか  
梶 玉 云 夫 — 19

外国語教育研究集会にばかり込み!! — 20

新会員自己紹介 — 21

El mia ieterkesto — 22

AINO-KALKULADO trad. J. Yamaga — 25

RAKONTO PRI ŜISAMOJ — 26  
trad. A. Hoŝida

マスコミのエスペラント(資料) — 27

連盟・大会のEsp表記について  
屋田 淳 — 30

連盟規約 — 31

第35回北海道大会報告 (10)

## 編集ノート

★ ようやく10月号という委員会の決  
意に 10月4日の発行が実現した!

★ 破題紙の表紙を印刷した。  
1000枚もありました。せいぜい  
発行を定期化したいもので、費用  
は 9,000円 かかりました。

★ 新刊の手オエス会(TEKO)は11月  
3日の文化の日(エスペラント展)開  
幕の手紙。

★ 東京における Esp-Movadoの中心  
的存在である東京青年エスペラント  
会(TEJA)は TEA(東京エスペラント  
協会)へと意欲的発展を遂げ、  
全国の gesamsideanoj からの深い支持を蒙  
りています。(原稿先: 102 東京都千代  
田区四番町 2-1, エスペラントの家)

★ 本誌の LEONTODO 編集は いちおう事務局  
の方へお送りください。(Sawaya)

事務局員募集 若干名

★ 本会・会外エスペラント  
★ エスペラント運動に熱意  
のある方  
★ または、報酬はなし

★ 事務局というと聞くと「あ、局長さん」という  
か、事務局員にあって Rondo Norda  
という女子会に属する事務局員に属する。

LEONTODO n-ro 44 1971 年 10 月 28 日発行

発行所 北海道エスペラント連盟  
060 札幌市南2.西4. 中央タイピスト学院内  
TEL 251-4750  
振替口座 (小樽)

編集 北海道エスペラント連盟事務局  
063 札幌市東区南一条4-4  
新井町郵便局内  
経路 第一巻付